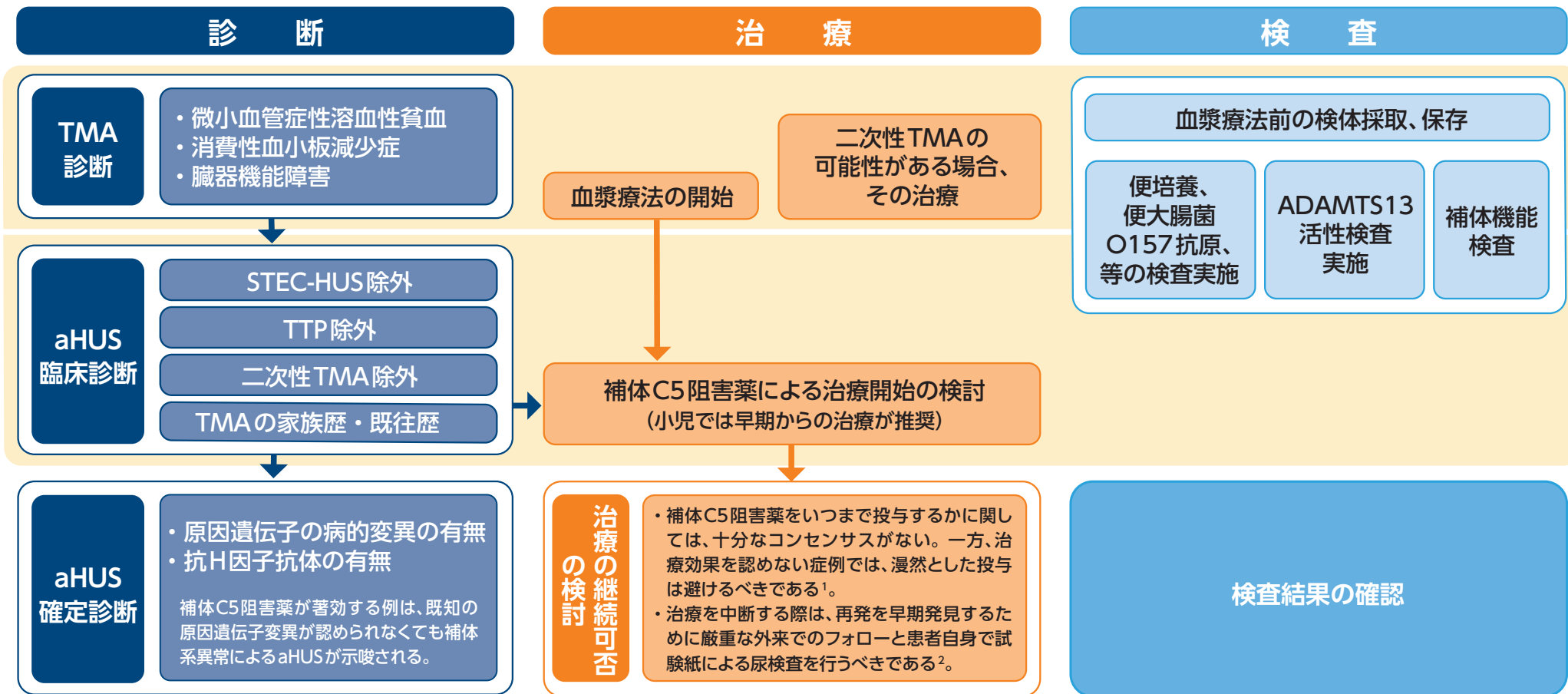


非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) 診療フロー¹

【監修】丸山彰一 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 腎臓内科学 教授)、加藤規利 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 腎臓内科学 病院講師)



TMA：血栓性微小血管症

STEC-HUS：志賀毒素産生性大腸菌感染による溶血性尿毒症症候群

TTP：血栓性血小板減少性紫斑病

1. 非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) 診療ガイド2015. 日腎会誌. 2016;58:62-75.

2. 加藤規利, ほか. 血栓止血誌. 2020;31(1):45-54.

3. <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kidney/aHUS-registry/index.html> (aHUS事務局)

非典型溶血性尿毒症症候群遺伝学的検査 (保険適用の検査)

検査依頼先：公益財団法人かずさDNA研究所 かずさ遺伝子検査室

(https://www.kazusa.or.jp/genetest/test_insured.html)

詳細についてはかずさDNA研究所ホームページ遺伝的検査リストを参照のこと。

<参考> 補体機能検査 (ヒツジ赤血球溶血試験)、抗H因子抗体検査³ (非保険検査)

【必要な検体】

- EDTA血漿
- クエン酸血漿
- 血清

【検体採取・保管方法】

- 検体採取時期：血漿療法等の治療前が望ましい
- 検体保管方法：遠心分離 (3,000rpm、15min、4℃; または施設の遠心法) 後、上清を密封型のスピッツに採取し、マイナス80℃で保管する。

【文献請求先及び問い合わせ先】

アレクシオンファーマ合同会社 メディカル インフォメーション センター
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-18-14 恵比寿ファーストスクエア
フリーダイヤル：0120-577657
受付時間：9：00～18：00（土、日、祝日及び当社休業日を除く）

アレクシオンファーマ合同会社

